

愛知県陶磁美術館 リニューアルオープン第2弾

# 4月1日(火) いよいよ本館オープン

愛知県陶磁美術館は、段階的に施設をリニューアルオープンします。  
その第2弾として、本館がオープンし、  
再開の記念として「新シュウ蔵品展」を開催いたします。  
また、これまでの常設展は、愛陶コレクション展「世界はやきものでできている」としてリニューアルいたします。

シユウ  
秀



灰釉蔵手文付水注 瀬戸窯 鎌倉時代  
愛知県指定有形文化財

新  
蔵  
品  
展

あらゆるシュウで  
作品を紹介!

シユウ  
捜



モダンセット 三郷陶器 昭和30年(1955)頃

## 新シュウ蔵品展 — 美術館シュウシュウのあれこれ

Recent Acquisitions:

Explore the Various Aspects of The Museum's Collecting Practices

2025年4月1日(火)～5月6日(火・振休) 本館1階 展示室1-A・1-B、地下展示室

## 愛陶コレクション展

# 世界はやきものでできている

定期的に展示替、  
変化し続ける  
常設展



粉青鉄絵草花文瓶  
韓国 朝鮮時代



深鉢  
日本 縄文時代中期



三彩甕  
中国 唐時代



黄地多彩鳥文鉢  
イラン 9-10世紀

The World Is Made Up of Ceramics:  
The Collection of the Aichi Prefectural Ceramic Museum

本館2階 展示室2-A・2-B、地下展示室

休館日 毎週月曜日(ただし5月5日(月・祝)は開館)  
開館時間 午前9時30分から午後4時30分まで(入館は午後4時まで)  
観覧料 一般400円(320円)、高大生300円(240円)、中学生以下無料

※( )内は20名以上の団体料金  
※詳細は愛知県陶磁美術館の公式Webページでご確認ください。

展示会の情報や今後の  
リニューアル情報はこちら  
[www.pref.aichi.jp/touji](http://www.pref.aichi.jp/touji)

愛知県陶磁美術館  
AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

盛田昌夫コレクション  
寄贈記念  
In Commemoration of the Masao Morita Collection Donation



リチャード  
ジノリの  
世界へようこそ



デザイン: ジョー ボンティ  
リチャード ジノリ「天使像」  
1927年  
愛知県陶磁美術館蔵  
(盛田昌夫コレクション)

# PORCELLANA ITALIANA

特別展

## イタリアの磁器 Special Exhibition: Italian Porcelain — Richard Ginori, it's Classic and Modern リチャード ジノリのクラシックとモダン

5.17 2025  
SAT

7.27  
SUN



ドッチア窯  
「スーパージュリン<ブーケ模様>」  
1810-1820年代  
愛知県陶磁美術館蔵  
(盛田昌夫コレクション)

■開館時間: 2025.5.17(土)～6.29(日)は9:30～16:30、2025.7.1(火)～7.27(日)は9:30～17:00  
[入館は閉館時間の30分前まで] ※5.17(土)は開会式のため開館は11時から  
■休館日: 毎週月曜日 7.21(月・祝)は開館、7.22(火)振替休館  
■観覧料: 一般 900円(720円) 高校・大学生 700円(560円) 中学生以下無料 ※( )内は20名以上の団体料金。※各種割引制度あり。  
■会場: 愛知県陶磁美術館 本館 〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地 TEL 0561-84-7474 FAX 0561-84-4932  
■主催: 愛知県陶磁美術館 ■後援: 愛知県教育委員会、愛知高速交通株式会社(リニモ)、名古屋日伊協会  
■特別協力: リチャード ジノリ アジアパシフィック、INAXライブミュージアム、ロムドン、アルフレックスジャパン、カッシーナ・イクスシー

愛知県陶磁美術館  
AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

[www.pref.aichi.jp/touji](http://www.pref.aichi.jp/touji)



1章

ドッチア窯の創業者カルロ・ジノリの時代 (1737-1757) から5代目カルロ・ベネデット・ジノリ・リーシ時代 (1879-96) のテーブルウェアを紹介。



ジノリといえば…  
イタリアンフルーツ!

キャンディボックス<イタリアンフルーツ>  
1757-92年制作  
当館蔵(盛田昌夫コレクション)

ステンシルで  
絵付けされた  
最初期の  
テーブルウェア



オーバルプレート  
<スタンピーノ>  
1735-57年制作  
当館蔵(盛田昌夫コレクション)

Italian Porcelain

ジノリの素敵な  
フィギュリン



Carino!

当時流行した版画や即興仮面劇に  
アイデアを得て1750年頃  
つくられたのよ!

グロテスクだけど  
ちょっとかわいい

カラモージョ  
<歌手>  
1985年頃(1985年頃復刻)  
当館蔵(盛田昌夫コレクション)



リバティーランプ  
<リディリオ>  
1905年  
(1995年復刻)  
当館蔵  
(盛田昌夫コレクション)

2章

リチャード ジノリの時代

1896年にドッチア窯はミラノのリチャード陶器会社と合併してリチャードジノリ社となりました。近代的な陶磁器メーカーとして多くの名品を生み出しました。

Classic and Modern

リチャード ジノリの  
クラシックとモダン

愛知県陶磁美術館では、2021年度に盛田昌夫様からリチャード ジノリの開窯期から2000年頃までの作品149点の寄贈を受けました。このたび寄贈記念展として盛田昌夫コレクションを初公開いたします。

リチャード ジノリの歴史は、1737年カルロ・ジノリ侯爵がトスカーナ州の自領に<ドッチア窯>を開き、磁器焼成に成功したことから始まります。ジノリ家の歴代当主が磁器改良に取組み、王侯貴族らに愛好されて発展しました。1896年にはミラノのリチャード陶器会社と合併し<リチャード ジノリ社>となります。近代的な製陶会社となったこの時代には、日用品を製造すると共に、装飾美術の転換期を迎えた時代を背景として、当時隆盛を見せていたリバティ・スタイルを導入し、生活空間を彩る美術陶磁を制作しました。

またアール・デコ期に活躍したアートディレクターのジオ・ポンティ(1891-1979)は、ジノリの磁器デザインに新風を吹き込みました。イタリア芸術の古典を大切にしながらも、各時代の新たなデザインを模索し、数々の名品を生み出してきたのです。本展では、初公開となる盛田昌夫コレクション中心に、新たな展開を迎えた現在のGINORI 1735の代表シリーズを加え、約200点をご紹介します。

3章



カップ&ソーサー<サーカス>  
1930年代 個人蔵



ウォールプレート<ドナテッラ>  
1924年(1996年復刻)  
当館蔵(盛田昌夫コレクション)

アート・ディレクター



象のペーパーウェイト  
1923-30年  
(復刻)  
GINORI1735蔵

1923年から1933年にかけて、後に「イタリアンモダンの父」と呼ばれるようになった若き建築家ジオ・ポンティ(1891-1979)が、リチャードジノリのアートディレクターをつとめました。

4章

ジノリの現在

2013年にリチャードジノリはケリンググループの一員となり、2020年にはブランド名が「GINORI 1735」となりました。世界的に活躍するデザイナーとのコラボレートにより、新たなコレクションを展開しています。



GINORI 1735

GINORI 1735  
ポット、カップ&ソーサー  
<オリエント・イタリアーノ> 2025年



関連行事

(1)記念講演会「陶磁を愛した建築家 ジョ・ポンティ」  
(事前申込不要・当日先着順)  
日時:5月31日(土)午後1時30分~3時頃  
講師:田代かおる氏(デザインライター、キュレーター)  
定員:150名程度

(2)親子向けギャラリートーク「はじめてのジノリ」  
(事前申込不要・当日先着順)  
日時:6月1日(日) 午後1時30分から(1時間程度)  
定員:10組程度

(3)ギャラリートーク(事前申込不要・当日先着20名)  
日時:6月15日(日)、7月19日(土)  
各日とも午後1時30分から(1時間程度)

(4)ポーセリン・ペインティング体験講座(事前申込制)  
「ペンワークで小さなお皿に花飾りのイニシャルを描く」  
日時:6月22日(日) 午後1時~4時頃  
講師:杉山ひとみ氏(1級陶磁器製造技能士、  
イタリア ロンバルディア州認定 陶磁器上絵装飾師)  
定員:20名 (応募者多数の場合は抽選)

次回の特別展  
「This is SUEKI-古代のカタチ、無限大!」  
日時:2025年12月13日(土)  
~2026年3月8日(日)

美術館へのアクセス

●公共交通機関  
リニモ「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m  
(リニモへは地下鉄東山線「藤ヶ丘」駅、又は愛知環状鉄道「八草」駅で乗り換え)  
名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「菱野団地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・祝日のみ運行)  
●自家用車  
駐車場無料・250台収容、大型バス9台収容



愛知県陶磁美術館

AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM  
www.pref.aichi.jp/touji/  
〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地  
TEL:0561-84-7474(代) FAX:0561-84-4932(代)  
E-mail touji@pref.aichi.lg.jp  
ホームページ https://www.pref.aichi.jp/touji